

授業科目名	コウノトリの野生復帰と地域	担当教員	内藤 和明
必修の区分	選択		出口 智広
単位数	2単位		佐川 志朗
授業の方法	講義		中井 淳史
開講年次	3年 第3クォーター		矢ヶ崎 太洋
講義内容	野生動物再導入の先進的事例であるコウノトリの野生復帰について体系的に学ぶ。野生復帰事業に実践的に関わっている教員が、野生復帰の取り組みに関する講義をオムニバス形式で行う。授業は、鳥類学、生態学等の生物に直接関わる内容から始まり、その後に、歴史学、地域計画学、社会学等の社会科学的な内容に展開する。また、野生復帰を進めている拠点施設である兵庫県立コウノトリの郷公園を見学し保全の最前線を知る。		
到達目標	本講義の到達目標は、履修者が、野生動物保護の手法としての再導入について理解し、それが地域社会や文化に与える影響についても分析・考察できるようになることである。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、環境保全型稲作とコウノトリ (内藤) 2 鳥類の特徴と魅力 (出口) 3 鳥類の現状 (出口) 4 コウノトリの野生復帰 (布野) 5 コウノトリと人との共生 (布野) 6 河川生態系とコウノトリ (佐川) 7 流域の自然再生事業 (佐川) 8 コウノトリの遺伝的管理 (内藤) 9 兵庫県立コウノトリの郷公園見学 (内藤) 10 コウノトリ野生復帰事業と地域コミュニティの再編 (山室) 11 コウノトリと人間の関係史 (中井) 12 コウノトリと共生する地域づくり (矢ヶ崎) 		
事前・事後学習	授業で学修したことに関する小レポートを各回に作成し、提出すること。		
テキスト	必要に応じて資料を配布する。		
参考文献	講義内容に関わる基礎的な文献等については講義中に示す。		
成績評価の基準	再導入の概念を理解し、それが地域社会や文化に与える影響についても分析・考察できる者に単位を授与する。レポート等の課題の提出状況 (70%) を基準として、受講態度 (積極的な質問等) を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育	該当しない。		
備考欄	履修者が定員を超過した場合、抽選を行う。		